■文観(弘真)　　**真言宗の僧。後醍醐天皇と結びついて異例の出世も，建武新政の破綻で失脚，邪教立川流の大成者に。**
もんかん
元が交易許可1278＝　　生。

元寇弘安の役1281＝ 3歳：

北条時宗没・1284＝ 6歳：

・・・・・・1287＝ **9歳：**

はじめ天台宗に属し，叡尊の授戒した播磨法華寺の住侶となり，

平禅門の乱・1293＝15歳：

・・・・・・1296**＝18歳：**

・・・・・・1302＝24歳：**_文殊と観音からそれぞれ一字を採って文観と名乗り，叡尊の"文殊信仰の熱烈な法弟"として，叡尊十三回忌の追善務める律僧として登場。**

・・・・・・1305**＝27歳：**

西大寺末寺の播磨北条常楽寺・大和笠山竹林寺などで，真言律を学び，

・・・・・・1314**＝36歳：**

北条高時執権1316＝38歳：**_この年までに，行基が開いたといわれる生駒の竹林寺長老となっていたが，おそらく伊賀兼光の力を借りて，醍醐報恩院道順を訴訟勝利に導き，道順から伝法灌頂を受け，正式に真言密教の僧になる。**

後醍醐天皇・1318＝40歳：
その後，天王寺別当真慶や伊豆の仁寛らの邪流を学び，先徳に仮託して印信・秘契・書籍などを製作して諸方に広めた。これが真言宗の邪教立川流で，弘真はその大成者とされる。

・・・・・・1323**＝45歳：**この頃，***後醍醐天皇に謁して熱心な帰依を受け，討幕のための調伏祈祷に大きな役割を果たし，**
正中の変・・1324＝46歳：**_般若寺に文殊観音像を造り，**

北条氏外執権1326＝48歳：**_この年から，天皇中宮藤原禧子の御産祈願と称して，鎌倉幕府調伏をしていたことが，**

・・・・・・1328＝50歳：後醍醐による忍性への菩薩号授与にも関与，

元弘の変・・1331＝53歳：**_露顕して幕府に逮捕され，硫黄島に配流されるが，**
・・・・・・1332**＝54歳：**
鎌倉幕府滅亡1333＝55歳：**_北条氏の滅亡により召喚され，**
二条河原落書1334＝56歳：***僧正となって"小野僧正"と呼ばれ，東寺大勧進となる。**
中先代の乱・1335＝57歳：***ついに東寺120代長者となり，大僧正に任じられ，醍醐寺64代座主も兼ねて，真言宗大寺の権勢を握るが，この異例の昇進といかがわしい修法などに，高野山衆徒らから後醍醐に徹底的に糾弾する奉状が出され，**
南北朝分裂・1336＝58歳：***建武新政の失敗とともに失脚。**

_その後も南朝に属して活躍し，

・・・・・・1341**＝63歳：**

観応の擾乱始1350**＝72歳：**

観応の擾乱終1352＝74歳：正平一統により一時，東寺長者に復したこともあったが，

・・・・・・1357＝79歳：河内金剛寺往生院で，**_没した。**

網野善彦「異形の王権」，平凡社百科事典，